



地域の歴史を学ぶ講演会を開催しました

10月14日(土)に田所公民館で、地域の歴史を学ぶ講演会を開催しました。

今年は田所にあるもう一つの有名な山城「本城」に焦点を当てました。本城は、阿須那地区にいた高橋氏が1361年に出羽氏を攻略し、毛利氏に滅ぼされるまでの約170年の間、田所・出羽地区を統治するために築いた山城です。田所上集落の北側、下対集落の南側に位置しています。

講演会には、昨年に引き続き中世史を研究されている島根大学教授の長谷川博史先生にお越しいただき、「本城常光と毛利氏・出羽氏」と題してご講演いただきました。

本城常光と言えば武勇に優れ、石見銀山の管理を任せられたほどの武将ですが、田所の本城にゆかりのある人物と言われています。

講演会の冒頭では、敗者の歴史は残りにくいと前置きされつつ、本城常光が「毛利、尼子の石見銀山争奪戦の勝敗は自分の心次第だ(自分が味方した方が勝つ)」という暴言を吐いており、後に毛利元就が配下にした本城常光をはじめとする本城氏一族を何故、謀殺しなければならなかったのかをお話いただきました。

毛利氏に攻められ、本城が落城したことにより出羽氏が領地を回復したことなど、本城の落城が高橋氏、本城氏、毛利氏、出羽氏にとって大きな転換点になったようです。

本城常光は尼子氏の配下である出雲国の高矢蔵城の主として、1544年の史料に初めて名前が出てきます。

この頃、尼子氏の出雲国支配において要衝を任せられるほど信頼を置かれた人物であったことをうかがわせます。また、須佐神社の鳥居を寄付したり、そういった神社の史料から本城常光の生まれ年は1501年ではないかと言われています。

それから石見銀山の攻防において、1556年に尼子氏が山城を制圧します。山城には尼子氏が番衆とともに、本城常光を派遣して守りを固めます。

しかし、毛利氏にとっても本城常光は重要人物であり、尼子氏を裏切るように工作、交渉がされていたようです。そして、常光は1562年の6月に毛利氏に投降しますが、山城の明け渡しは拒否したようです。この時に毛利元就、隆元親子から出羽元祐宛てに「本城常光が毛利方になることを承認してくれた謝意と、常光が高橋氏の一族で不安もあるうが出羽氏を疎略に扱うことはない」と起請文を送っています。

ところが、1562年の11月には毛利元就の命により吉川元春が、宍道丸蔵城の普請のために陣中の本城氏一族を計画的かつ徹底して討滅を図りました。

長谷川先生のお話によると、本城氏討滅は毛利氏による石見銀山の實質的支配を行うためですが、予想ですが常光が田所の本城を返せと言った可能性もあるとのことでした。

講演会の様子は改めてケーブルTVで放送します。



講演会には46人ご参加いただきました



長谷川先生に分かりやすく講演していただきました

人権講演会を開催します

田所公民館では毎年、瑞穂中学校と一緒に人権講演会を開催しています。今年は『変わる教育・変わらない心・親子の悩みを解決する新常識』と題して高善寺の武田正文さんに講演していただきます。

インターネットやスマホアプリが日々進歩する一方、思春期の親子の悩みは昔から変わりません。

日々の親子のやりとりを心理学の視点から読み解きます。

日時 令和5年12月2日(土)
14時~15時30分

場所 瑞穂中学校体育館
お申し込みは11月30日までに田所公民館までお願いします。

AEDの場所について

ご存じの方も多いと思いますが、田所公民館のAEDは玄関の風除室にあります。外側の自動ドアは夜でも鍵をかけていませんので手で開きます。



第9講 寄せ植えをしよう!



女性セミナー第9講「寄せ植えをしよう!」を下記の日程で開催します。年末の玄関を鮮やかに彩ってみませんか?
マスク着用の上、ご参加下さい。

- 日 時 12月7日(木) 13:30~15:00
 - 開催場所 田所公民館
 - 内 容 寄せ植え
 - 持 参 品 軍手、移植ごて、汚れてもいい服装
30cm位の鉢もご持参ください
 - 定 員 なし
 - 参 加 費 1,000円程度(実費となるので変更となる場合があります)
 - そ の 他 寄せ植え終了後、1月以降の女性セミナーの当番を決めたいと思います。
 - 締 切 り 12月1日(金)
- ※詳細等は、公民館へ問合せください。

☆女性セミナー☆

地域脱炭素を学びました

女性セミナーでは出前講座で地域みらい課の藤田浩司さんに来ていただき、「邑南町脱炭素先行地域事業」についてお話を聞きました。

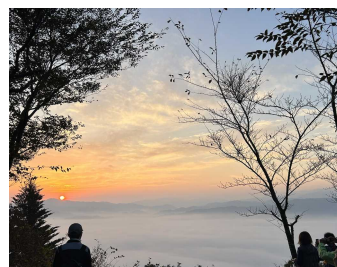
脱炭素とは二酸化炭素の排出量をゼロにしようという取り組みです。邑南町は、この脱炭素を手段として経済循環をつくる仕組みを作りました。

今までは町外で作った電気を買っていたため、毎年7億円前後が町外に流出していました。そこで、電気を邑南町内で作って使う地産地消を目指します。

メリットは、通常使う電気の使用量に上乗せされている「燃料費調整」と「再生可能エネルギー発電促進賦課金」がいきりません。そのため町内産の電気は安く使うことができます。そのための町内産の電気は安く使うことができます。

講師に来ていただいた藤田さんは、いつでもどこでも脱炭素の説明に来ていただけるそうですので、ぜひお話を聞いていただけたらと思います。

どがあずしろう会「二ツ山に行こう!」イベント開催



11月5日の雲海と朝日



11月3日の雲海と朝日

今年で3年目を迎えた二ツ山で雲海と朝日を見るイベントを、どがあずしろう会の主催で11月3日(日)と11月5日(日)に開催しました。これまでは田所地区内しか声かけをしていませんでしたが、今年から広く参加者を募りました。半分以上が地区外からのお申し込みをいただき、いずれも定員20名としておりましたが一杯となりました。

暗い中5時30分に田所公民館を出発し、車で二ツ山の8合目の駐車場を目指し、その後約10分かけて二ツ山西の丸に到着しました。

参加者の皆さんが、五百年前に毛利元就が見ていたかもしれない朝焼けと雲海を眺めていただいている間に、恒例の朝食メニューの町内産の食材にこだわった二ツ山トーストと、二ツ山の麓から汲み上げた水を使い自家焙煎した豆で淹れたコーヒ、そして手作りシフォンケーキを用意しました。幻想的な景色を見ながらいただく朝食は特別な時間となりました。

11月12日(日)も計画していましたが、残念なことに雨や雷注意報が発令されたため中止とさせていただきます。

その代わりに予備日である11月19日(日)に追加開催します。この時の様子は、また次回にお知らせします。

町政座談会を開催します

日時 12月5日(火) 19時~21時

場所 田所公民館大ホール

令和4年5月から邑南町では「邑南町地域コミュニティのあり方検討委員会」を立ち上げ、人口減少と高齢化による担い手不足が続く中でも安心して安全に暮らし続けられる地域を作るための仕組みについて検討結果がまとめられました。

今回の座談会では、地域コミュニティのあり方基本方針の説明を行ったあと、先行地区からの現状報告をいただき、グループ形式での意見交換を行います。

全国的に地域の困りごととは地域で解決する組織である、地域運営組織の立ち上げが進んでいます。ご興味がある方は、ぜひお越しいただきお話を聞いてみてください。

月	日	曜日	場所	対象地区
11	2	木	布施公民館	布施
11	20	月	市木公民館	市木
11	24	金	出羽公民館	出羽
12	1	金	高原公民館	高原
12	5	火	田所公民館	田所

令和5年度邑南町町政座談会(瑞穂地域)日程表

ー主な行事予定ー

- ー11月ー
- 25日(土) 公民館清掃 9:00~10:00
- 25日(土) 東光保育園発表会
- ー12月ー
- 2日(土) 瑞穂小学校学習発表会
- 2日(土) 田所公民館・瑞中合同人権講演会 14:00~
- 7日(木) 女性セミナー第9講(寄せ植えをしよう!) 13:30~
- 12日(火) 囲碁会



主事のひとごと...『SNS』



地域の歴史を学ぶ講演会で長谷川先生が本城氏一族は討滅されたとお話されましたが、吉川元春の家来として生き残った本城氏の子孫の方が講演会のことをSNSで偶然見つけられて、岩国市からわざわざ田所までお越しくださいました。SNSってすごいですね!

田所地区の人口
(10月末)

男性 779人

女性 889人

合計 1668人

高齢化率 43.46%